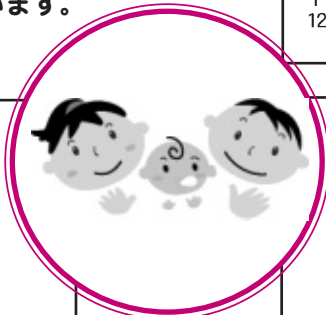
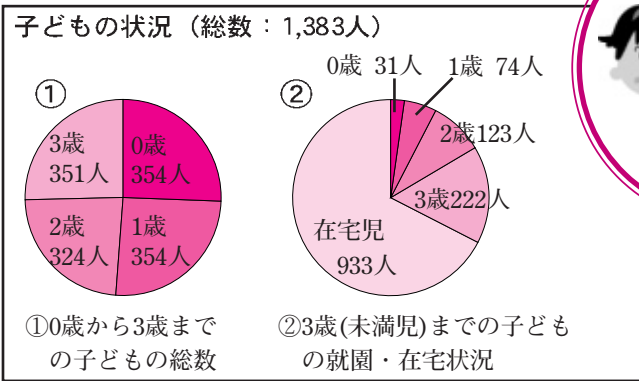


今回は市内の1歳から3歳までの子どもに関する現状を示しながら、ウェルネス・アクションつる行動計画の①子どもたちが仲間づくりをして遊べる(人間関係を育てられる)まち②優しさのある子どもが住んでいるまちにしたいという願いを目指した事業を紹介したいと思います。

世帯構成比率の推移

	核家族世帯	三世帯世帯	単身世帯	その他
昭和55年	49.7%	16.0%	26.4%	7.9%
平成2年	48.3%	15.1%	29.8%	6.8%
平成12年	46.7%	14.8%	34.9%	3.6%



1歳6カ月児・3歳児健診の相談内容から

- ①子どもの体と心の悩み
- ことばが遅い
  - 生活リズムが乱れる
  - 転びやすい
  - 偏食、食事にムラがある
- ②子どもの生活体験不足の悩み
- 外遊びが少ない、遊び方がわからない
  - はさみ、ボタンかけをしたことがない
- ③親の生活習慣の乱れやストレスの悩み
- 夜更かし、食生活の乱れ
  - 夫婦や家族関係の悩み
  - 子どもとのかかわり方がわからない

○遊びを通して、子ども同士でふれあいながら、基本的な生活習慣や社会性を養うことができる。

○遊びを通して親が子どもの体の仕組みや発達過程を知り、子育ての知識や技術を習得しながら適切な関わりができる。

○親同士の交流により情報交換ができる。

子どもに関する事業の目的

1歳から3歳までは基本的な生活習慣や社会性を身につけ、人間関係を築いていく基礎であり、親の愛情と豊かな生活体験を重ねることでも心も健やかに育っていく大切な時期です。

本来、子どものしつけや基本的な生活習慣を身につける場合は家庭にあります。両親が仕事をもち、低年齢で就園する子どもが多くなっているため、両親が子どもと接する時間はますます減少しています。

また、在宅で生活している子どもの状況としても、昔はほとんどの家庭が大家族で暮らし、おじいちゃん・おばあちゃん、また近所の人々が子どもを見守り、地域で子育てをしていました。近頃は核家族で暮らし、家庭が増え、子育ては親(特に母親)だけのものとなり、相談相手もなく不安や悩みを抱えながら子育てをしている状況が伺えます。こうした家族形態の変化や家族機能の低下による子育てに対する課題を解消するため、子どもと親を中心に、次のことを目的に事業を実施しています。

子どもに関する事業の紹介 (平成15年度)

よちよち教室

1歳～1歳2カ月児と親・年4コース12回・40人(幼児食、歯磨き、しつけをテーマに親子で遊んだり親同士の交流の場となっています。)

わくわく教室

1歳6カ月～2歳児と親・年2コース6回・91人(おもちゃづくりを通して親子で遊んだり、親同士の交流の場となっています。)

わんぱく学級

2歳～3歳児と親・年10回・326人(月毎にテーマを決め、外遊びを中心に生活体験を増やすきっかけづくりや親同士の交流の場となっています。)

これらの事業のスタッフには、遊びや子育ての専門講師、遊びや保育の専門である保育士などが携わっています。それぞれの教室で年々参加者が増えています。

\*対象者には通知をしています。



で通知が届きましたら積極的に参加しましょう。

参加者の声(よちよち教室・わくわく教室・わんぱく学級)

○家にいると子どもと遊ぶことがあまり出来ないが、子どもと遊べてよかった。子どもの興味のあることが何なのか分かりよかった。

○他のお母さんたちの子育ての工夫や様子を聞くことがとても参考になった。1カ月に1回自分の子どもの成長を実感する素敵な教室でした。

○ありがたいやおはようのあいさつができるようになった。人の話を聞く、それに答えることができるようになった。

○本当に月数の近い子と遊べたり、出会うことができよかったです。子どもは同じようなことをするんだなと思って、安心したり、そう思って子どもに接するのとやさしい気持ちになりました。

○この時間は子どもと本当に楽しい時間だった。先生方が「その子の持っているものをそのまま受け止め、まわりと比べないように」という言葉がとてもこころよかったです。

○お兄ちゃんの時も今回も月1回ですが本当にいろいろな体験ができ、都留市のいろいろな場所も知りよかったです。

○1年を通して季節を感じながら活動に参加できたことがとてもよかった。

問合せ先

いきいきプラザ都留 健康推進課

☎(46)5113